

2023

2.15 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_wzOYQ2RfQeyE--vr76KkZw

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

「空飛ぶクルマ」は社会に受け入れられる 移動手段になれるのか？

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



Key Words

空飛ぶクルマ

社会実装

社会受容性

ウェルビーイング

小島 立 教授

九州大学大学院法学研究院 国際関係法学部門



学歴

2000年3月：東京大学法学部第1類卒業

2003年6月：ハーバード・ロースクール法学修士課程 (LL.M) 修了

略歴

2000年4月-2005年2月：東京大学大学院法学政治学研究所助手

2002年7月-2004年7月：財団法人知的財産研究所長期在外研究員

2002年7月-2004年7月：ハーバード・ロースクール東アジア法研究プログラム客員研究員

2005年3月-2007年3月：九州大学大学院法学研究院助教授

2007年2月-2007年3月：シンガポール国立大学法学部アジア法研究所客員研究員

2007年4月-2020年3月：九州大学大学院法学研究院准教授

2013年4月-2013年12月：マックス・プランク知的財産法・競争法研究所客員研究員

2014年1月-2015年3月：マックス・プランク・イノベーション・競争研究所客員研究員

2020年4月-現在：九州大学大学院法学研究院教授

2020年4月-2022年9月：九州大学大学院法学部国際コース (法律) ディレクター

2020年11月-2022年9月：九州大学総長補佐

2022年3月-現在：九州大学高等研究院副研究院長

2022年10月-現在：九州大学副理事 (担当：法務、知的財産、研究インテグリティ)

2022年10月-現在：九州大学法務統括室長

私の専門は、知的財産法、文化政策、科学技術イノベーション政策です。私たちが多様性と包摂性を兼ね備えた形で科学技術イノベーションの成果や文化的表現を享受するための制度設計について教育研究を行っています。私が旧産炭地である福岡県直方市の出身であることもあり、ライフワークの一つとして、筑豊地方の石炭産業遺産に関する研究も進めています。

「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた動きが国内外で加速しています。日本では、2025年の大阪・関西万博において、「空飛ぶクルマ」の実用化が目指されています。しかしながら、「空飛ぶクルマ」がより高頻度かつ高密度で運行される状況を見据えた社会制度の設計や「社会受容性」についての根本的な検討はなされていないのが現状です。「空飛ぶクルマ」が私たちの「ウェルビーイング (幸福)」に資する移動手段になるためには、環境負荷を抑えること、いわゆる「スマートモビリティ」としてのサービスを実現すること、スムーズな運航を行うためのインフラ整備などの多くの複雑な課題を解決することが求められています。